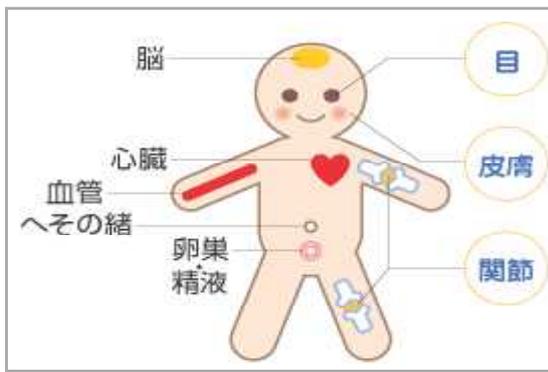


ヒアルロン酸

ヒアルロン酸はわずか1グラムで水6リットルの保水力をもつといわれる優れた保湿成分です。もともと表皮と真皮の両方に存在していて、**角質層の細胞間をうめる役割**を果たしています。但し、体中のヒアルロン酸は、老化とともに減少していきます。ヒアルロン酸が豊富な皮膚ほど柔軟性が高く、たとえば大人の皮膚に含まれるヒアルロン酸の量は、**赤ちゃんの20分の1**です。そこで、ヒアルロン酸を補うことで、水分の保持能力を高め、コラーゲンとエラスチンの損傷を防いで、**肌の張り**と**弾力**を保ちます。又、乾燥で保湿力が低下した**肌をみずみずしく**保ちます。



●難しく言うと、ヒアルロン酸は脊椎動物の「結合組織中」に普遍的に存在する「生体高分子（複合糖質）」で、私たちのからだの中のさまざまなところに存在しています。しかし、その濃度は部位によって異なり、特に濃度が高いのは、**皮膚、へその緒(臍帯)、関節液、目の硝子体**などです。



- 眼の「**硝子体**」のヒアルロン酸は、緩衝作用・組織形状の維持の役割があります。
- 皮膚の「**真皮**」にヒアルロン酸が多く存在し、肌の乾燥を防ぐ作用をしています。
- 関節内には「**関節液**」と云う液体があり、液体のクッションの役割をしています。その関節液のヒアルロン酸が、関節がスムーズに動く潤滑液の作用をしています。

●体内で最も多くヒアルロン酸が含まれているのは**皮膚**であり（ヒト成人で平均7～8g、体全体の約50%を占める）、真皮（約0.5mg/g湿重量）と表皮（約0.1mg/g）の両方に存在します。



●体内のヒアルロン酸は、成長とともに減少していきます。例えば、大人の皮膚に含まれるヒアルロン酸の量は、**赤ちゃんの20分の1**とされています。

●ヒアルロン酸は**1gあたり6リットルの水を保持**することができ、生体の水分を保つ上で重要な働きをしています。



●「ヒアルロン酸」は「**関節液**」、「**関節軟骨**」などに含まれ、**潤滑作用**（骨と骨の間の滑りをよくする）や**緩衝作用**（クッションとしての役割）など、関節の動きを良くする働きをしています。

●眼の「**硝子体**」に多く含まれ、緩衝作用や組織形状の維持（目の形の維持）をしています。更に、**目の乾燥**を防ぎます。



●ヒアルロン酸は**細胞と細胞の間に多く存在**して、水分の保持やクッションのような役割で細胞を守っています。更に、最近の研究では細胞が壊された時や、強い炎症が起こった時に「**細胞を修復**」する機能があると言われています。従って、手術後などの回復を早めます。